

「宇宙に響く一滴のしずく」 信州飯綱高原はいいのちの森



「今、人々が最も求めていることは心が幸福であること」と語る、塩澤みどり代表理事。

水輪には30歳になる早穂理さんという女性がいます。水輪で働く仲間たちが一番尊敬しているのが早穂理さんだ。早穂理さんは、私たちが忘れていた、とても大事なことを、無言のうちに教えてくれる。

早穂理さんは1975(昭和50)年4月3日に生まれた。塩澤研一さんとみどりさんの間に授かった早穂理さんは、出産時の医師不在などいくつかの不運が重なり、前頭葉脳損傷による重度心身障害者という宿命を背負った。いくつになっても

話すことも、歩くことも自力で食事も排泄もできないと、検査の結果宣告された。「なぜ……」。みどりさんはもたえ苦しむ、畳の目を爪で引っ掻き、のたうちまわった。体力的にも精神的にも限界を感じて娘を施設に預けることも考えたが、結局、夫婦二人の手元で慈しんで育てて決めた。

喉から絞り出すような「うー」とか「あー」という声しか上げられない早穂理さん。木々が輝く飯綱高原に早穂理庵を建てて引越してきたのは殺者が出る文明とは？

心ある人は皆思っている。今の文明は何かおかしい、と。物で栄える日本に毎年3万人以上の自殺者が出る文明とは？

「恒産(物質的豊かさ)を尊敬し、素晴らしい未来を共に開く共創へ。水輪をその原点の地にしよう」というのが「いのちの森」構想である。まさに21世紀の人類が目指すべき方向だろう。

「根底に人間性への信頼」
心ある人は皆思っている。今の文明は何かおかしい、と。物で栄える日本に毎年3万人以上の自殺者が出る文明とは？

標高千メートルの信州飯綱高原に「いのちの森」はある。新幹線長野駅から車で登る約20分。針葉樹林を伐り拓いた斜面に並ぶ檜の建物が「また来たね」と、やさしく記者を迎えてくれた。野鳥の声が周囲の静寂を破る。公益財団法人いのちの森文化財団(塩澤みどり代表理事、長野市大字上ヶ屋)の宿泊・研修施設「水輪」である。早穂理庵の横の路地を曲がると5町歩もある水輪ナチュラルファームが視界に広がり、幾種類もの季節の野菜が一面に光を浴びていた。全て完全無農薬、無化学肥料で栽培されている。ここが県から

公益財団として認可されたのは2011年7月。「いのちもあるものすべてが仲間同士であるという意識」をつくるのが設立の目的だ。親子三人だけが住む早穂理庵が建ったのは3年前。一滴の水が波紋を拡げるように人々を呼び寄せ、今やダイヤモンドの原石」ともいえるべき人間の魂を磨き、来訪者の身心をリフレッシュさせるオアシスとなっている。汚染なき戸隠の「いのちの森」が地球環境と人心の破壊に「待った」を掛け、希望の21世紀文明を生み出す拠点となることを志す。

塩澤夫妻の早穂理さんへの純粋な愛は、万人への愛へと昇華されていった。一人は万人のために、そして万人は一人のために。宇宙は、かけがえない一つ一つの生命が繋がるひとつの「いのち」なのだ。太陽や月や天上の星や風や草木虫魚に至るまで、全てのいのちは共振しあっている。

分断から融合へ、奪い合いから与え合いへ、人を裁く傲慢から、万人の胸中に輝くダイヤモンド

を尊敬し、素晴らしい未来を共に開く共創へ。水輪をその原点の地にしよう」というのが「いのちの森」構想である。まさに21世紀の人類が目指すべき方向だろう。

「根底に人間性への信頼」
心ある人は皆思っている。今の文明は何かおかしい、と。物で栄える日本に毎年3万人以上の自殺者が出る文明とは？

「根底に人間性への信頼」
心ある人は皆思っている。今の文明は何かおかしい、と。物で栄える日本に毎年3万人以上の自殺者が出る文明とは？

塩澤研一・みどり夫妻を訪ねて 万人の胸中にダイヤモンドの原石

「八紘一宇」という言葉がある。『日本書紀』巻第三神武天皇の条に基づいて戦前、国柱の田中哲学によって造られた。「道義的に世界を統一して天下を一つの家のようにする」という意味だが、これが日中戦争を「聖戦」として正当化するスローガンとして使われた▽国柱の会員に「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と宣言した宮澤賢治がいる。しかし、賢治と国柱主義の国柱会とは水と油である。賢治の不明というよりも、ことほど左様に本物と偽物の区別が難しいことを私たちに教えてくれる▽「反省のふり」というのがある。これも「偽物」すなわち自己正当化のための目くらましである。「もし私の言い方が誤解を与えたとすれば、心からお詫びします」というのは一見謙虚を装った逃げ口上にほかならない。「すれば……」が曲者。真率に詫びる者の誠意が感じ取れない。安富歩東京大学教授は、こういう類いの詭弁を「東大話法」と呼んだ▽本物と偽物を見分けるコツは何か。それは、ひたすら本物に触れることである。目利きの骨董屋は本物だけを見て鑑眼を磨く。偽物が本物の顔をじつめても、直感と裏付けをもつて短期日のうちに偽物と断定する。古典を読む意義もそこにある。



春を迎えた水輪ナチュラルファームで。ここに心身共に「健康な日本」蘇生の原点が！

未来共創新聞

〈発行者〉
株式会社 オフィス 21
〒521-1222
滋賀県東近江市佐野町 369-6
電話：0748(42)8215
FAX：0748(42)8216
E-mail：
ykiyo127@skyblue.ocn.ne.jp

- 第12号の内容
- 2面…脳障害の早穂理さん魂癒す「水輪」の主人公 スタッフ実習生に聞く
 - 3面…ホンワカまん丸温かく 命繋がる自家採集ワイド(4~5)面…ともに創る未来の種子が水輪に森全体に共振する愛「命の森構想」とは――
 - 6面…日本農業再生への若 ホビ族のストーンサークル
 - 7面…社説「希望は、独立した魂の連帯」 万華鏡の三面
 - 8面…国内の保険売上ナンバーワン 万人の幸福へ業界の革命児 万華鏡

「conscience(良心)」
「八紘一宇」という言葉がある。『日本書紀』巻第三神武天皇の条に基づいて戦前、国柱の田中哲学によって造られた。「道義的に世界を統一して天下を一つの家のようにする」という意味だが、これが日中戦争を「聖戦」として正当化するスローガンとして使われた▽国柱の会員に「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と宣言した宮澤賢治がいる。しかし、賢治と国柱主義の国柱会とは水と油である。賢治の不明というよりも、ことほど左様に本物と偽物の区別が難しいことを私たちに教えてくれる▽「反省のふり」というのがある。これも「偽物」すなわち自己正当化のための目くらましである。「もし私の言い方が誤解を与えたとすれば、心からお詫びします」というのは一見謙虚を装った逃げ口上にほかならない。「すれば……」が曲者。真率に詫びる者の誠意が感じ取れない。安富歩東京大学教授は、こういう類いの詭弁を「東大話法」と呼んだ▽本物と偽物を見分けるコツは何か。それは、ひたすら本物に触れることである。目利きの骨董屋は本物だけを見て鑑眼を磨く。偽物が本物の顔をじつめても、直感と裏付けをもつて短期日のうちに偽物と断定する。古典を読む意義もそこにある。